

・・・もし千葉市が給料収入500万円の家庭だったら・・・

市の財政と家庭の家計ではしくみが違いますが、分かりやすくするために、平成31年度一般会計予算を家計簿に置き換えてみました。

なお、平成31年度の市税を給料500万円として作成しています。

《 ちばしの家計簿 》

収入

日常的な収入
合計1,007万円

項目	H31	H30	H31-H30増減
給料(市税)	500万円	489万円	11万円
パート収入(使用料・手数料など)	84万円	85万円	△1万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税など)	360万円	346万円	14万円
友人から返ってくるお金 (中小企業資金融資預託金収入)	63万円	65万円	△2万円
借入金(市債)	142万円	123万円	19万円
貯金の取り崩しなど(繰入金)	12万円	13万円	△1万円
合計	1,161万円	1,121万円	40万円

支出

項目	H31	H30	H31-H30増減
食費(人件費)	238万円	240万円	△2万円
生活費(物件費・補助費など)	175万円	167万円	8万円
医療費(扶助費)	279万円	268万円	11万円
自宅の修理代(維持補修費)	22万円	21万円	1万円
車・土地の購入代(普通建設事業費)	112万円	97万円	15万円
子どもへの仕送り(他会計への繰出金など)	138万円	126万円	12万円
借入金の返済(公債費)	129万円	133万円	△4万円
貯金(積立金)	5万円	4万円	1万円
友人へ貸すお金 (中小企業資金融資預託貸付金)	63万円	65万円	△2万円
合計	1,161万円	1,121万円	40万円

※借入金及び貯金(H29年度末現在)

借入金の残高 (市債・債務負担行為残高)	2,008万円
貯金の残高(基金残高)	67万円

平成31年度の支出は、車・土地の購入代や子どもへの仕送りなどが増えた結果、1,161万円となりました。

一方、収入は、親からの仕送りや給料などが増えた結果、日常的な収入は1,007万円となったほか、車・土地などの購入のための借入を142万円行うとともに、貯金を12万円取り崩して、やりくりしました。